



公益社団法人 日立法人会

# ひたち

日立法人会ホームページ <https://hitachi-hojinkai.com>

## Contents

新年のご挨拶	2
今、求められる 管理職のリスクリング	3
税務署だより	4～5
絵はがきコンクール	6～7
全国大会・群馬大会	8～11
納税表彰式、青年部会だより	11
税務署巡り	12～14
間違い探し・編集後記	15



法人会  
消費税期限内納付

推進運動

81  
2024

### ▲ 日立灯台 (日立市大みか町古房地公園 (こほうちこうえん) 内)

「日立灯台」は、1967 (昭和 42) 年に地域環境との調和及び港湾や漁港整備との協調を図るため、地域の特色を取り込んだ、和ろうそくの「デザイン灯台」として整備されました。茨城県沿岸では唯一、巨大なレンズ (3 等大型レンズ) を使用した灯台となっており、沖を航行する船舶の目印として夜間光を発しています。

(日立市ホームページより一部抜粋)

# 2024年 新年のご挨拶



(公社)日立法人会  
会長 吉野 邦彦

令和6年の年頭に当り、公益社団法人日立法人会の皆様に謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素から本会の活動に対しまして深いご理解と格別のご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて昨年の日立法人会の活動を振り返りますと税務研修会をはじめとして、先ずは予定通りに事業を開催することが出来ました。

また女性部会が主管となり「絵はがきコンクール」

や青年部が主管となった「租税教室」の実施、また各委員会活動などそれぞれの活動に感謝申し上げます。一方会員拡大に向けた活動では大変厳しい環境の中、組織委員会を中心に加入率50%復帰を目指しておりますが、現在は大変苦勞をしているところであります。

今後とも継続して会員拡大に努めたいと思いますので、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様には法人会の特徴である異業種交流を通じた情報交換、交流の場を密に行い、そして活用いただき有益な情報を得られる魅力ある会にしたいと思っております。日立法人会会員皆様のご健勝並びに事業のますますのご繁栄を祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。



日立税務署長  
高橋 富江

新年明けましておめでとうございます。

公益社団法人日立法人会の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

旧年中は、吉野会長をはじめ法人会会員の皆様並びに事務局職員の皆様には、税務行政全般にわたり、深いご理解と格別のご協力を賜り、誠にありがとうございました。

貴会におかれましては、税のオピニオンリーダーたる経営者の団体として、各種研修会や「税に関する絵はがきコンクール」の開催、租税教室への講師派遣等の啓発活動、社会貢献活動に積極的に取り組まれ、地域社会や会員企業の健全な発展に寄与されるなど、長年のご尽力に対しまして深く敬意を表する次第であります。

今後とも、税務行政のよき理解者として、皆様のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、新年を迎えますと、所得税等の確定申告の時期となります。昨年9月の台風13号に伴う豪雨によ

り被害を受けられた方は、雑損控除を受けられる場合がございます。日立税務署では本年も、確定申告会場を開設いたしますが、ご自宅などから申告ができる「スマホ申告」や、非対面で納付ができる「キャッシュレス納付」の利用拡大のための取組みも、より一層推進していきたいと考えております。また、令和6年1月から、マイナポータル連携による確定申告書への自動入力の対象に、給与所得の源泉徴収票をはじめ、国民年金基金やiDeCoなどの掛金も加わり、更にe-Taxの利便性が向上しました。これらの便利な方法のご利用や、周りの方へのPRにつきましても、何とぞご協力くださいますようお願いいたします。

2024年の干支は、甲辰(きのえたつ)。「甲」は十干の始まりにあたり、生命や物事の始まりを意味し、「辰」は草木が伸長し、形が整い、活気にあふれている様子を表すそうで、縁起のよい、何かにチャレンジするのに適している年と考えられます。また、辰年は天高くのぼる竜に守られるといわれます。

新しい年が、日立法人会と会員・事務局の皆様にとりまして益々のご発展の年となりますよう、会員皆様のご健勝並びに関係企業のご繁栄を心より祈念いたしまして、新年のごあいさつとさせていただきます。

# 今、求められる 管理職のリスクリング

株式会社ジェイック 取締役 古庄 拓



最近目にする「リスクリング」とはデジタルスキルの習得だと思われるが、中小企業が成長するうえで必要なのは、管理統制・トップダウン・説得中心の昭和型マネジメントから、対話重視で部下の主体性や強みを引き出す令和型マネジメントに切り替える「リーダーシップのリスクリング」だ。

## 求められる管理職像の変化

経営者・役員・人事部門を対象に実施した「求められる管理職像の変化とその課題に関するアンケート調査（2023年9月、ジェイック実施）」で、20年前の管理職像と現在の管理職像とでは求められる度合いが大きく変化した項目がある。

たとえば「管理職には対話のコミュニケーションが求められると思う」は20年前の管理職像32%⇒現在の管理職像53%と21pt高い。逆に「管理職には部下の管理と統制が求められる」は49.5%⇒23.5%と26pt低下、「管理職にはトップダウンの進行が求められると思う」も39.5%⇒14.5%と25pt低下した。

昭和や平成初期は、上司が自身の経験をもとに指示・命令することで成果をあげられた。しかし、価値観や時代の変化に伴って成果につながるマネジメントのやり方は変わってきている。

## 令和のマネジメントで押さえるべき3つのポイント

### ①対話力の向上

昭和の時代は「上司の指示に従いなさい」「仕事は見て覚えなさい」という指導が基本であり、背景には、「上司に従っていれば、いずれ役職や待遇がついてくる」という動機付けがあった。しかし、今の若者は役職や待遇だけでは動かない。また、見て覚えるというやり方は「生産性が低い」と思われてしまう。従って、部下と対話しながら動機付ける、目的やプロセスを分かりやすく教えることが重要だ。

### ②強みを生かす育成力

昭和型のフィードバックは部下の課題や弱みを指摘し、奮起を促すことが主流であった。しかし、現在は課題を指摘するだけのフィードバックは自信を失わせ、成長を妨げてしまうこともある。現在も課題克服が必要な場合はあるが、従業員の強みを見だし、最大限に生かすマネジメントを軸とした方が効果的だ。

### ③ボトムアップ型のチームビルディング

昭和の管理職には部下を管理統制する力が求められた。しかし、今は上司が正解を知っているとは限らない。現場に近い部下のほうが顧客ニーズや最新動向をつかんでいる場合も多い。従って、上司には部下の考えや意見を引き出して意思決定するボトムアップ型のマネジメントが求められている。

## 今の管理職に求められる力

令和の時代に組織のパフォーマンスを高めるには、上司が一方向的に指示・命令・フィードバックをするのではなく、対話を通じて、部下の声に耳を傾け、強みを生かして動機付けるマネジメントが重要となる。人手不足が進行する中で部下のパフォーマンスを高められていない管理職には、令和型マネジメントの3要素「対話力の向上」「強みを生かす育成力」「ボトムアップ型のチームビルディング」を身に付けてもらうことが必要だ。

### 【筆者紹介】古庄拓（ふるしょう・たく）

1983年生まれ。慶應義塾大学卒業後、株式会社ジェイックに入社。中小企業・ベンチャー企業を対象とした社員研修や採用支援の提案・企画、管理職養成プログラムの事業化、新卒メディアの立ち上げ等を経て、同社取締役。人材育成や採用支援の知識・ノウハウを発信している。

システム導入が  
難しくても  
大丈夫!!

## 令和6年1月からの 電子取引データの保存方法

今までは電子取引データをプリントアウトした書面を整理してファイリングしていたけれど、**令和6年1月からはどうすればいい**だろう。



以下の【可視性の確保】と【真実性の確保】を満たしていただく必要がありますが、難しいことはありません。

### 【可視性の確保】

- ① モニター・操作説明書等の備付け
- ② 検索要件の充足



まずは、①と②を満たしていただく必要があります。ただし、「2課税年度前の売上高が5,000万円以下の方」、または「電子取引データをプリントアウトして日付及び取引先ごとに整理されている方」は、電子取引データの「ダウンロードの求め」に応じることができるようにしていれば、②の要件は不要となります。



仕事で使っているからパソコンや操作マニュアルはあるし、プリントアウトした書面を整理してファイリングしているわ。

可視性  
OK



### 【真実性の確保】

専用のシステムなどを導入していないのだけれど、どうすればいいだろう。

不当な訂正削除の防止に関する事務処理規程を制定し、遵守する。



その場合であっても、「ルールを決めて守っていただくこと」で満たすことが可能です。事務処理規程のサンプルは、国税庁HPに掲載していますので、参考にしてください。

事務処理規程を制定すればいいのね!

真実性  
OK



そして、今まではプリントアウトした後に電子取引データを消していたけれど、**令和6年1月からは消さずに保存する**必要があるのね。



そのとおりです。電子取引データが原本ですので、これをそのまま保存してください。



準備が間に合わない場合はどうしたらいいの?? ➡ 裏面へ

## 準備が間に合わない場合はどうしたらいいの？

人手が足りなくて、令和6年1月までに事務処理規程の制定などの準備が間に合いそうにないな。



(1)と(2)を満たす場合には、**電子取引データを保存しておくだけで大丈夫**です。

- (1) 電子取引データ保存の一定のルールに従って電子取引データを保存することができなかったことについて、所轄税務署長が相当の理由があると認める場合（事前申請等は不要です。）

「人手不足」はこれを満たすんだな。



はい。ほかにも、「システム整備が間に合わない」「資金不足」など、幅広い理由で認められますよ。

- (2) 税務調査等の際に、

- 電子取引データのダウンロードの求め 
  - 電子取引データをプリントアウトした書面の提示・提出の求め 
- にそれぞれ応じることができるようにしている場合



**電子取引データを消さずに保存しつつ、税務調査などの際に、電子取引データや電子取引データをプリントアウトした書面を渡せるようにしておけばいいのか。**



そのとおりです。ご対応をよろしくお願いいたします。

なお、保存する電子取引データの範囲は、これまで書面で保存しているものと変わりありません。



税務職員ふたば

※ 令和4年度税制改正で措置された「宥恕措置」は、適用期限（令和5年12月31日）をもって廃止されます。

## もっとくわしく知りたい、経理のデジタル化を進めたいときは？

電子帳簿保存法の取扱通達・Q&A・説明動画や各制度のポイントがわかるパンフレットなどを国税庁ホームページの「[電子帳簿等保存制度特設サイト](#)」に掲載しています。

こちらから特設サイトにアクセスできます



# ぜい かん え 税に関する絵はがきコンクール

「税に関する絵はがきコンクール」の受賞作品をご紹介します。

—コロナ禍にも関わらず今年度は管内10校264通の応募をいただきました!—

## 日立法人会長賞



▲日上市立日高小学校  
6年 岩崎 琴美さん

▲日上市立日高小学校  
6年 加古 瑠莉那さん

## 日立税務署長賞



▲北茨城市立中郷第一小学校  
6年 渡邊 橙士朗さん

## 女性部会長賞



▲日上市立滑川小学校  
6年 関 未来萌さん

▲日上市立会瀬小学校  
6年 須田 珠央さん



▲日上市立豊浦小学校  
6年 小泉 優奈さん



▲選考中の審査員の皆さん



▲ホテル天地閣さんでの優秀作品の展示



日立税務署管内租税教育推進協議会会長賞



▲日立市立金沢小学校  
6年 梶山 結南さん



▲日立市立豊浦小学校  
6年 川上 李緒さん



日立市  
教育長賞



▲日立市立滑川小学校  
6年 矢野 日向世さん

高萩市  
教育長賞



▲高萩市立高萩小学校  
6年 大友 想介さん

北茨城市  
教育長賞



▲北茨城市立中郷第一小学校  
6年 坂本 琉夢さん

佳作 (順不同)

安部 壽さん(日立市立成沢小学校)、青木 心咲さん、木村 咲希さん、  
長山 菜心さん、和田 真央さん(以上、日立市立滑川小学校)、国井 咲英さん、  
今治 咲希さん(以上、高萩市立高萩小学校)、島崎 春斗さん、黒沢 うたさん、  
斉藤 紡季さん、井澤 明日香さん(以上、日立市立豊浦小学校)、平倉 久実さん(日立市立宮田小学校)、  
福地 太遥さん(日立市立大久保小学校)、谷口 亜美さん、宮崎 凜さん(以上、北茨城市立中郷第一小学校)

優秀学校賞

日立市立滑川小学校、日立市立豊浦小学校、日立市立成沢小学校、  
高萩市立高萩小学校、北茨城市立中郷第一小学校

# 法人会全国大会・群馬大会の 参加報告

広報委員会 委員 鈴木 重之



令和5年10月18日(水)、群馬県高崎市の高崎芸術劇場で第39回の全国大会が開催されました。

当会からは小野崎久雅副会長、小川幸則副会長、清水朋彦広報委員長と広報委員の私の4名が参加いたしました。当初は吉野邦彦会長も参加予定でしたが、都合により欠席となってしまったのは残念でした。



▲高崎駅前にて。左から清水、小川、小野崎の各氏と私

例年通りの行動パターンで動きます。

受付時間開始早々に会場に入り、最初に向かったのが物産展です。とにかく混雑する前に地元の物産展を楽しむのが私のやり方です。



▲物産展会場

最近、物産展の会場の中央に休憩や飲食できるテーブルと椅子が用意するようになりました。この物産展では、たまたま立ち寄ったお店の“おかみさん”が、なんと日立市出身の方。これも何かの縁でしょう。即、ここで買い物をすることに決定しました



▲買い物中のメンバー、後方の帽子の方がお店のご主人

続いて恒例の記念写真を撮影。清水氏、小川氏が手にしているのは、ご当地キャラクターの「ぐんまちゃん」(馬だそうです)です。開会は午後2時ですが、時刻はお昼前です。

空いているときに、さっさとやるべきことをやって、高崎駅に戻り昼食をとりました。



▲右から小野崎、小川、清水の各氏と私

お昼ですが、群馬は「登利平(とりへい)」の「鳥めし」が有名なのだそうで、駅構内のお店で昼食をとりました。皆さんがグルメに詳しいのには感心しました。



▲お昼

食後、早めに会場に戻って1時20分からのウェルカムコンサートを鑑賞しました。このコンサートは群馬交響楽団のアンサンブル編成による演奏です。



▲ウェルカムコンサート

今年の大会の登録数は426法人、1,510名(9月21日現在)でした。

2階の最後部が「茨城県」の指定席で、60席が用意されていましたが、なぜか座り切れなくて、我々は、やむなくその後方の「一般席」に座って大会に参加しました。どうも我々だけではなく、かなり「あぶれた」人たちが多かったです。群馬県のお隣の「栃木県」の指定席が24席しかないというのも不思議な感じでした。隣の県から24人しか来ないなんてありえない気がしますね……。



▲講演会

午後2時より第1部の講演会です。

講師は日本通信(株)の社長であり、前橋工科大学の理事長でもある福田尚久氏。演題は「好機到来」。

福田氏は、元々は米国のアップル社におられた方で、アップル米国本社副社長を経て現職の日本通信(株)の社長になった方なので、講演の大部分はアップル社にいた頃のお話。

アップル社のスティーブ・ジョブズの意味決定方針は賛成する人が1~2割しかないときは「やる」、それ以上、賛成する人がいる場合は「やらない」のだそうです。

つまり、みんなが賛成するような案件は、もう古い、他

社も同じことを考えているという考え方で、逆に賛成者が少ない案件のほうがやりがいがあるという考えらしいのですが、かなりリスクがあるような気がしますね。

1997年ごろのアップル社は巨額の赤字で倒産寸前だったといえます。あと2週間でキャッシュがなくなり支払いができないという時に会議を開催しましたが、会議はお金の話ではなく、10年後、20年後の会社のロードマップ作りだったといえます。

ここで助け舟を出したのが、マイクロソフト社。アップルが倒産すると困るのはマイクロソフト社のビル・ゲイツ。マイクロソフト1社になるとマズイということでビル・ゲイツがアップルに出資してくれたという。その理由もなるほど面白かったですね。

アップル社は大量生産から個別最適化に3年の月日をかけて事業を変え、利益を回復したそうです。

中国や米国は独自の企画力をもって小企業などが経済を引っ張ってきたので、「モノづくり文化」のある日本でも可能ではないか?

今は他にないものを作るということに関しては絶好のタイミングだと思うと、福田氏は我々聴衆にハッパをかけました。

福田氏は今、16人学級を提言して活動しているといえます。

海外では1クラス20人以下が普通で16人ぐらいが適格だということで、前橋市にモデル校(小中学校)を作ろうという話を進めているそうです。



▲式典

約1時間の講演が終わり、続いて第2部の式典となり、来賓のご挨拶のトップバッターは住澤 整 国税庁長官で、10月から始まったインボイス制度のお話と3番目の柱として税務手続きのデジタル化に積極的に取り組みたいという話、そして源泉徴収税のデジタル申告化にご協力願いたいというお話でした。





▲山本群馬県知事のご挨拶

続いて山本一太群馬県知事のご挨拶。

さすが参議院議員時代によくテレビに出ていた方なので、誰もがご存じの方ですね。「法人会という大事な大会のために他の用事を早々と済ませて駆け付けました！」との第一声で笑いを取り、「群馬県の財政回復に頑張っています！」という話のあと、「これから大事な用事がありますので失礼します！」とそのまま会場から去り、再び笑いを取られました。あっという間の疾風のご挨拶でした。

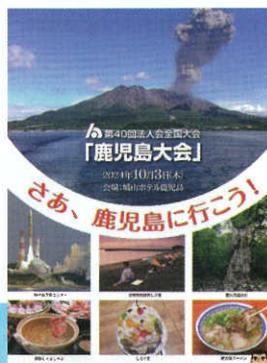
その次は富岡賢治高崎市長のご挨拶。

「観るのは無理でしょうが・・・」と高崎にある史跡を紹介し、「持って帰るのは大変でしょうが・・・」と、すでにシーズンが過ぎて持ち帰れないであろう果物の話をして笑いを取りました。

今回配布された手提げ袋の中に高崎名物の「高崎だるま」が入っており、これは高崎市からの提供とのお話に万雷の拍手が起きました。

来年は10月3日(木)に鹿児島県鹿児島市で全国大会が開催されます。

そういうわけで、鹿児島県連の皆さんを応援に行き、記念撮影をしました。



▲鹿児島県連の皆さんと記念写真

その後、小川副会長は仕事の関係で日帰り、残る3人は、折角の群馬県ですから伊香保温泉の宿に宿泊することになりました。

同じことを考える方はいるもので、我々が宿泊した宿には愛知県方面の法人会の方々が宿泊していました。

その中で、たまたま瀬戸旭法人会3名の方々と話をする機会があり、先方は専務理事と広報委員長、広報委員とのこと、こちらも担当副会長と広報委員長と委員の3人ということで、会報などについての情報交換などをして充実した時間が過ごせました。

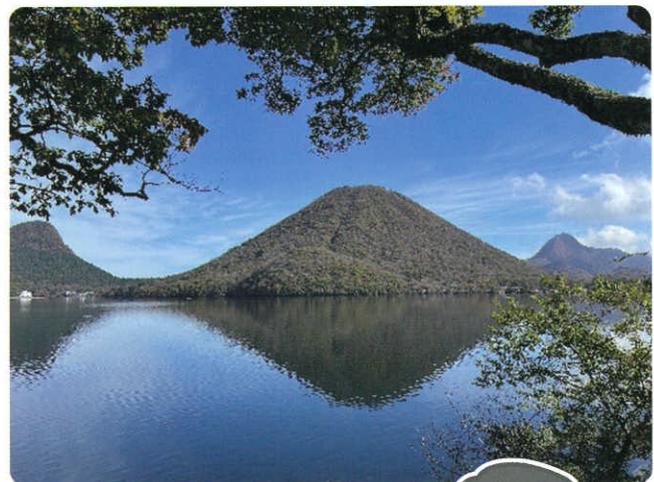
こういう偶然、こういう出会いも楽しいものです。

翌朝は近くの(?)の伊香保神社にお参りに行きましたが、どこのどなたが言ったのか、すぐ近くというのですが、長い石段を息を切らし目まいを起こしながら参拝に向かいました。



▲ずっと石段を登って、最後の石段、間もなく頂上です

全国大会の翌日は清水広報委員長の案内で周辺の観光をしながら帰途につきました。



▲榛名湖と榛名富士





▲榛名神社



▲水沢寺観音堂

全国大会に参加された皆さん、ご苦労様でした。

来年は、鹿児島です!今回参加されなかった皆さんも今から予定を入れておいてください。是非、みんなで行きましょう!

よろしくお願いいたします。



令和5年度

納税表彰式

## 受賞おめでとうございます

令和5年度の「納税表彰式」は「税を考える週間」中の11月13日月曜日、日立シビックセンターにおいて挙行されました。

今年度、当会からは常任理事の木曾裕次氏が永年にわたる税務行政へのご尽力が認められ、「日立税務署長表彰」を受賞されました。

また、当日は、女性部会が主管しております「第14回税に関する絵はがきコンクール」において優秀賞に該当した児童への表彰状の贈呈もございました。



▲前列右から3人目 木曾裕次氏



▲「税に関する絵はがきコンクール」受賞者(出席者のみ)

青年部会だより

第37回全国青年の集い

山形大会

去る10月6日(木)~7日(金)、標記全国大会が実施されました。

当会からは、大高部会長をはじめ、OBの皆さんを含め、総勢8名で参加いたしました。



▲参加されたみなさん

# 全国税務署巡り

広報委員会 委員 鈴木 重之



## ◆ 栃木県佐野市若松町・佐野税務署



▲佐野税務署

JR 両毛線の佐野駅から徒歩で5分ほどの場所に佐野税務署があります。

税務署の建物はかなり小さく見えますが、実は奥に長い「ウナギの寝床」的な建物です。税務署のすぐ隣りに小高い丘があります。(写真の右の茂み)

そこは「佐野城跡」で、現在は「城山公園」となっています。



▲史跡 佐野城址



▲佐野城本丸跡

佐野城は、同じ佐野にあった唐沢山城の城主である佐野氏が慶長7年(1602年=関ヶ原の戦いの2年後)にこの丘に移って築いた城です。

当時、ここには惣宗寺(そうしゅうじ)がありました。「惣宗寺」は、あの「佐野厄除大師」のことです。

そのお寺を移転させて、築城しましたが、慶長19年に改易(かいえき)となり、築城後わずかな期間で廃城となりました。

「佐野」といえば、この「厄除大師」か「佐野ラーメン」ではないでしょうか?

駅前には、ご当地キャラクターの「さのまる」の銅像が建っています。頭に佐野ラーメンのお椀をかぶり、腰には「いもフライ」の刀を差した佐野の城下に住むサムライなのだそうです。



▲さのまる

私の興味は、関係者には申し訳ないのですが「佐野厄除大師」でもなければ「佐野ラーメン」でもありません。

佐野出身の「田中正造」なのです。田中正造は江戸時代の天保12年に生まれ大正2年に亡くなった人で、明治時代に自由民権運動家・政治家として活躍した人です。

名前は聞いたことがあるが、何をした人なのかは覚えていないという人は多いのではないのでしょうか?

田中正造は栃木県議会議員を経て衆議院議員になり、帝国議会で足尾銅山の鉱毒問題を取り上げて農民の先頭に立って活躍し、さらに天皇陛下への直訴未遂事件で有名になりました。

この田中正造を知るため佐野市立郷土博物館へ行きました。



▲佐野市立郷土博物館

博物館敷地には田中正造の銅像が建って出迎えてくれます。



▲田中正造像

訪問した時に、ちょうど「田中正造翁没後110年」「栃木県誕生150年」「佐野市郷土博物館開館40周年」を記念して田中正造の企画展が開かれていました。



▲企画展の案内

この企画展の「未公開文書」というのは、田中正造と共に精力的に鉾毒根絶運動に邁進した黒澤酉蔵家が所蔵する田中正造関係の文書です。

この黒澤酉蔵という人は、今の茨城県常陸太田市の出身で、雪印乳業（現・雪印メグミルク）の設立者だそうで、今回の企画展で初めて知りました。ちなみに黒澤酉蔵は昭和57年に96歳でこの世を去っています。

博物館内には常設の「田中正造展示室」という一室が設けられていて田中正造に関する資料が展示されています。



▲田中正造展示室

ここでは蓑をまとい笠を手にした田中正造の銅像が迎えてくれます。

かなり凄みのある険しいお顔ですが、足尾銅山の鉾毒事件を追求し、野蛮とか狂人だとかと嘲られても戦い続けた人らしいお姿だと思います。



▲田中正造像

最後には無一文となり家も失い着の身着のまま、汚い着物で過ごし、遂には立ち寄った他人の家で亡くなったといえます。

その時の所持品は数冊の本と石ころだけだったとか。

田中正造の生家も佐野市内に残っていますが、この博物館からは少し離れているのでタクシーを手配していただき生家に向かいました。



▲田中正造の生家

佐野市郷土博物館の職員の方には大変お世話になりました。

ありがとうございました。

さて、足尾銅山の鉱毒事件ですが、江戸時代初期に出来た足尾銅山から産出された銅は、日光などの堂塔の屋根に使われたり、オランダや中国に輸出されていました。

そういうわけで日本にとってはかなり重要な鉱山だったわけですが、製錬には大量の木材を使うため山林は伐採と野火と煙害で禿山となり、ついに明治23年8月の大洪水によって栃木と群馬の七郡の田畑が鉱毒の泥水で汚染され、その後もたびたび洪水が起り被害を拡大していきます。

翌年、第2回帝国議会で足尾銅山の鉱毒被害を田中正造が初めて取り上げました。

しかし、まもなく日清戦争が起こり銅の価格が急騰、逆に採掘が今までより盛んになり鉱毒による公害問題に触れる人がいなくなってしまいます。

明治34年に田中正造は衆議院議員を辞任します。

国会議員として、しつこく政府に解決を要求すること10年、それにもかかわらず相手にされず、鉱毒事件は解決しないまま田中正造は亡くなります。

「公害闘争の先駆者」と言ってもいいのではないかと思います。その田中正造は、わが郷土の「日立鉱山」と少なからず関係があるのではないかと私は思っています。

寛永2年、徳川家康の十一男の徳川頼房が初代水戸藩主となった頃、赤沢銅山という小銅山で銅が産出され、これが日立鉱山の前身です。

明治38年（日露戦争開戦の年）、日立鉱山が創設され、足尾銅山と比肩する日本有数の銅を産出する鉱山となります。

当然のように鉱毒事件が発生し、鉱毒水による汚染に加えて亜硫酸ガスによる煙害が発生しました。

この時に鉱山側が早々と被害者に補償をしたのは、田中正造の足尾銅山の鉱毒事件追及の影響があったという話を聞いたことがあります。

ところが、年々鉱毒の汚染被害が拡大され、その補償が高額になってきたため、鉱山側は抜本的な解決策を取る必要性に迫られます。

それが、「東洋一の煙突」と言われた「日立鉱山の大煙突」です。

この日立鉱山の煙害と大煙突をモデルに書かれた

のが新田次郎の『ある町の高い煙突』という小説で、映画化もされました。

平成元年には「かみね公園」に「新田次郎文学碑」と「大煙突記念碑」が建立されました。



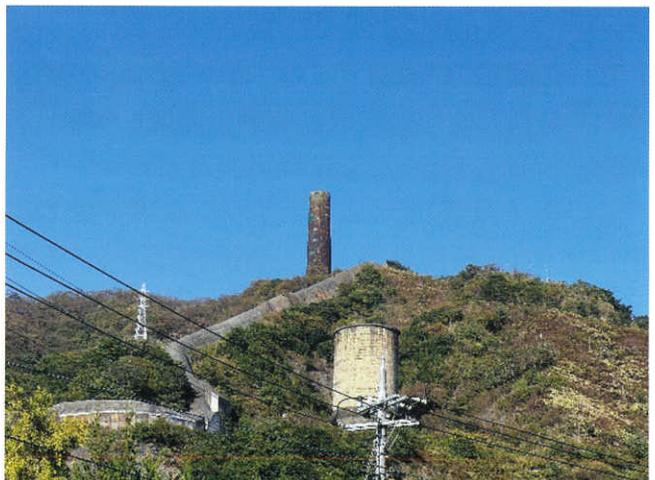
▲新田次郎の文学碑と大煙突記念碑

その「大煙突」は大正4年末に完成し翌年から使用された高さ約155メートル強の煙突で、当時は世界一の煙突と言われていたそうですが、私が小学生の頃は「世界一」ではなく「東洋一」って言うように思います。

平成5年2月に、老朽化のため煙突の下部3分の1を残して大煙突は倒壊してしまいました。

現在残っている煙突は、本来の高さの3分の1の高さで、日立市のシンボルでもあった大煙突が「ある町の高い煙突」ではなくなってしまい残念です。

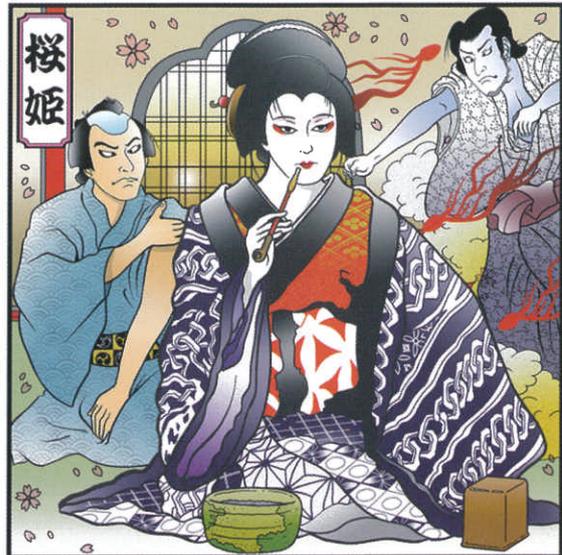
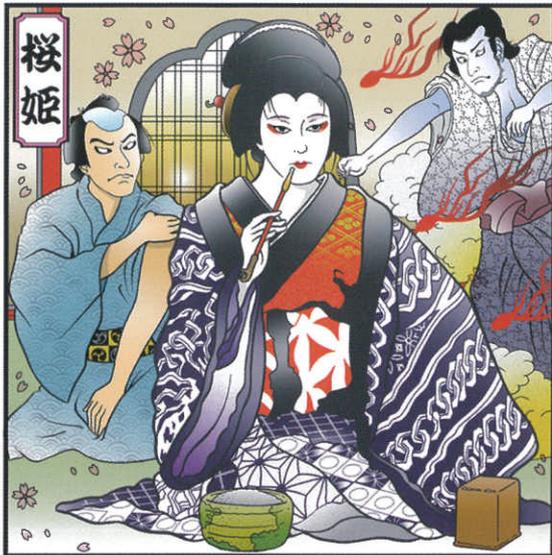
今ではもう「鉱毒」という公害はなくなっているでしょうが、鉱毒という公害に立ち向かった田中正造のことも「我が町の煙突」と共に知っていただけたら嬉しく思います。



▲大煙突

# 7つの間違い探し

\* 右の絵と左の絵には相違点が7か所あります。見つかりますか？



## プレゼント

全問正解者の中から抽選で5名様にクオカード(1,000円分)を進呈いたします。

## 応募方法

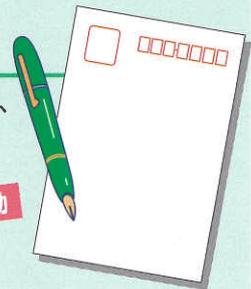
郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号・「7つの間違い探し」の答えと本誌ご感想や、今後取り上げて欲しい内容等をご記入のうえ

〒317-0073 日立市幸町1-21-2 日立商工会議所会館1F

「(公社)日立法人会・プレゼント係」にお葉書きでお申込み下さい。

当選者の発表はクオカードの発送をもってかえさせていただきます。

3月10日消印有効



## 【作者紹介】

神谷一郎(かみや・いちろう) 専修大学法学部卒業後、漫画プロダクションを経て漫画家に。現在はフリーランスのイラストレーターとして、雑誌・広告・水彩画挿絵等で活躍中。

## 編集後記

今年の法人会全国大会は、群馬県の高崎市で開催されました。一泊の予定でしたので、宿泊地を『群馬の三石湯』の一つである、石段で有名な『伊香保温泉』にしました。▼高崎から、車で、約50分ぐらいの山の中にあります。旅館で夕食をとった後に、少し外で飲みましようというので、外に出て石段を下り始めると、直ぐに、大きなテントで覆われたような、しゃれた飲み屋さんがありました。▼オープンテラスのような感じですが、なんと、そこには、夕食で隣だった法人会の人たちがいて、すでに飲んでおりました。▼せっかくなので、情報交換会を兼ねて、一緒にさせていただくことにしました。「どちらからいらしたか、どうですか？」と訊ねると、「愛知県の瀬戸市です。」と応えてくれました。びっくりして、思わず「え〜！」と叫んでしまいました。「せともの」で有名な瀬戸市です。そこは、私が学生の時、4年間住んでいたところだったんです。▼話は盛り上がり、八冠になった瀬戸市出身の棋士、藤居聡太氏の話題となり、私は、彼と生まれた日が七月十九日であること、血液型がA型で一緒であることを、相当自慢しながら話していたと、翌日、皆から言われました。▼他の法人会の人たちと交流ができて、そして、たくさん楽しいお話ができました。今回の群馬大会での人との出会いは、観光地巡りとともに、いい思い出として心に残ることでしょう。たまたま、広報委員会の人もいらっしやっただので、名刺をいただき、後で、私たちの名刺と広報誌を送りますと約束をして別れました。▼『人と人との輪が広がる』とは、まさにこのような偶然と、積極性から始まるかも知れません。

(広報委員長 清水 朋彦)

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

# かけがえのない 物語を支えたい。

社員全員が家族や友人のように、支えあい、  
 かけあひで、一生懸命働いている。  
 実は、日本の会社の99%はそのような中小企業です。  
 そのような会社で生まれる情熱、信頼、希望、喜び、誇り、  
 つらさ、それはいくつものかけがえのない物語。  
 大同生命は経営者向け保険のバイオフィアとして、  
 そして、半世紀にわたり、さまざまな中小企業とともに  
 歩んできたパートナーとして。  
 中小企業の経営に、事業承継に、万が一のときの存続に、  
 これからも寄り添い、ともに歩んでいきたいと思ひます。  
 大きな変化を迎えているこの時代に、会社を守り、  
 みんなで進んでいくというお家さまのためにできること、  
 私たちは全力で取り組んでいます。

その安心で、企業とともに未来をつくる。

 **大同生命保険株式会社**

CM特設サイトはこちら



水戸支社/茨城県水戸市桜川1-1-25(大同生命水戸ビル3F) TEL 029-221-2881



公益社団法人 日立法人会

# 日立

第81号

発行所

公益社団法人 日立法人会

〒317-0073 日立市幸町1丁目21番2号 日立商工会議所会館内1F

TEL 0294-24-2211番 FAX 0294-22-0130番

〈HP〉 <https://hitachi-hojinkai.com> 〈E-mail〉 [mail@hitachi-hojinkai.com](mailto:mail@hitachi-hojinkai.com)

発行日

令和6年1月15日

印刷所

大成印刷株式会社